

新興国レポート

主要非鉄金属相場下落と中国の動向

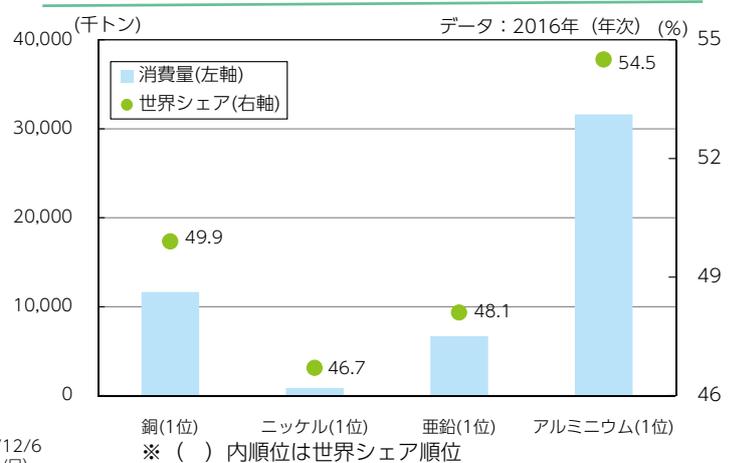
主要非鉄金属相場が下落、一時的な調整後は回復の可能性も。

- ▶ 中国の需要減速懸念から主要な非鉄金属相場が下落基調へ。2015年の中国経済の先行き不透明感による資源価格の大幅下落が連想されるが当時とは違う状況も。
- ▶ 2018年の主要非鉄金属市場は供給不足との見通しもあり価格の回復も想定されるが、中国当局による金融規制強化や不動産規制により中国株式市場がさえない現状には注意。
- 銅やニッケルなどの主要な非鉄金属相場が下落しています。国際指標であるロンドン金属取引所(LME)の銅3ヵ月先物価格は11月24日～12月5日に6%程度下落しました(図表1)。背景には、世界の主要非鉄金属の消費量の半分程度を占める中国(図表2)の景気減速懸念による需要減少見通しや中国政府による金融規制強化の観測から売りが先行したとの見方があります。中国の景気減速懸念から資源関連価格が下落という状況は、2015年の世界的な株価の下落や資源価格の下落(図表1)、新興国からの資金流出による通貨の下落を連想させられます。しかし、当時との状況と比較してみるといくつかの相違点があります。当時は米国でシェールオイルの開発が進み、原油の供給が過剰となったことなどの理由から原油価格が大きく(100ドル台から40ドル台まで)下落しました。現在の原油価格は当時の下落前ほどの価格水準ではないにせよ比較的安定的に推移しています。また、中国の製造業購買担当者景気指数(PMI)は、2015年当時は景気減速を示唆する50を下回る水準で推移していたのに対して、11月のPMIは51.8と市場の予想に反して直近5年程度では非常に高い水準に達し、国内外の需要の強さを示しています。
- 主要な非鉄金属の供給面では、消費国であると共に生産国でもある中国では、政府による過剰生産能力の削減や過剰在庫の削減などに加え、環境規制強化などの取り組みから生産を制限する政策が進められています。その一方で需要面についてはインフラ需要が旺盛であり、例えば中国に限らずインドといった世界各国のインフラ需要において2018年は世界全体の銅需要は2%の増加、中国は3%の増加が予想されています。2018年の主要な非鉄金属は概ね供給不足と想定されており、足元の一時的な価格の調整はあるものの、世界経済の拡大を背景に堅調な推移が想定されます。一方で中国当局の金融規制強化や不動産規制などの動きから中国株価が調整していることや、鉄鉱石や原油などの資源は過剰供給となるとの見通しもあるため、注視していく必要があります。

(図表1) 主要な非鉄金属のLME先物価格推移



(図表2) 中国の主要非鉄金属消費量と世界シェア



出所) 図表1はブルームバーグのデータ、図表2は石油天然ガス・金属鉱物資源機構のデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

●当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。●当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料のグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。●投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。●手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品をお勧めするものではないので、表示することができません。●当資料のいかなる内容も将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会